

平成25年度予算見積調書

課室名：入札審査課
 担当名：システム担当
 内線：2732

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B38	電子入札導入推進事業費			一般会計	総務費	総務管理費	一般管理費	入札・契約管理費	
事業期間	平成15年度～	根拠法令	高度情報通信ネットワーク社会形成基本法			戦略項目			
						分野施策	050201 ITを活用した県民生活の利便性の向上		
1 事業の概要				5 事業説明					
一連の入札関連手続(入札参加資格申請、調達情報公開、入札書提出、開札等)を電子化することにより、公共調達改革を推進し、競争性、公平性、透明性を一層向上させ、事務効率化を図る。 システムの更新時期を迎え、また、平成26年度に実施される暗号化技術の変更への対応と機能の強化を図るため、システム再構築を行う。 (1) 電子入札共同システムの運用 185,659千円 (2) 電子入札共同システムの研修・説明会の開催 292千円 (3) 電子入札共同システム開発 132,523千円 (4) 電子入札共同システムの運用(新システム) 70,355千円				(1) 事業内容 ア 電子入札共同システムの運用(通年) システムの機器等賃貸借、IDC・ネットワーク管理、運用保守業務・ヘルプデスク業務委託を実施 185,659千円 イ 電子入札共同システムの研修・説明会の開催(年間延べ6回) 市町村職員や新規事業者向けの研修・説明会の開催 292千円 ウ 埼玉県電子入札共同システム開発(平成26年1月まで) 平成26年度に実施される暗号化技術の変更への対応と機能強化を目的としたシステム開発 132,523千円 エ 電子入札共同システムの運用(新システム、平成26年2月から) ウのシステムの環境構築、動作テスト、データ移行及び運用開始(平成26年2月) 70,355千円 (2) 事業計画 ア 現行システムの運用 平成16年10月から平成26年3月まで イ システム開発 平成24年6月から平成26年1月まで ウ 新システムの運用 (ア) 環境構築、動作テスト、データ移行 平成25年10月から平成26年1月まで (イ) 新旧システムの並行運用 平成26年2月から平成26年3月まで (ウ) 新システムの本格運用 平成26年4月から (3) 事業効果 ア 公共調達改革の推進、競争性、公平性、透明性の一層の向上 イ 新しい暗号化技術に対応した安全な情報管理 ウ わかりやすいシステムによる入札参加推進 エ 電子入札実施件数 平成21年度 20,356件、平成22年度 22,373件、平成23年度 22,970件 (4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況 ア 埼玉県(1)、市町村(59)、一部事務組合(1)の計61団体での共同利用 イ 全国的に普及しているソフトウェアの採用					
2 事業主体及び負担区分 (県57/100・共同利用団体43/100)									
3 地方財政措置の状況 普通交付税(単位費用) (区分) 包括算定経費(細目) 企画費 (細節) 情報管理等費 (積算内容) 電子計算機による情報処理、運用等									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×4人=38,000千円									
				財 源 内 訳					
予算額		諸収入						一般財源	前年との対比
決定額	388,829	165,629					223,200	200,965	
前年額	187,864	74,771					113,093		